科目名称	看護過程Ⅰ（看護過程理論）	学年学期	単位数	時間数
		第1学年　後期	1	15
担当教員	福田　栄江	授業に関わる実務経験	■ 有（　　看護師　　） □ 無	

【1】 授業概要

看護の対象者に個別的な看護活動の方法を実践するために、健康問題を解決する系統的な方法を学び、看護過程Ⅱ（演習）の事例展開につながる。

【2】 学習目標

1. 看護過程の基礎となる知識や理論を学び看護過程の意義と段階を説明することができる。
2.情報整理の枠組みを説明でき、情報を分類することができる。
3.枠組みの情報を解釈・分析することができる。
4.看護計画をルールに基づき記述することができる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
□ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護過程の構成要素①	講義
2	看護過程の構成要素②	講義
3	看護過程の構成要素③	講義
4	看護過程の構成要素④	講義
5	看護過程の構成要素⑤	講義
6	看護過程の構成要素⑥	講義
7	看護過程の構成要素⑦	講義
8	試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験 40%、小テスト 30%、課題 30%

【6】 教科書

①有田清子他　基礎看護技術Ⅰ　第16版　2018　医学書院
②ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく　実践　看護アセスメント　第3版　2017　ヌーベルヒロカワ

【7】 参考書

NANDA-Ⅰ　看護診断　定義と分類　2018-2020　医学書院
基本から学ぶ看護過程と看護診断　第7版　2012　医学書院
ゴードンの機能的パターンに基づく看護過程と看護診断　第5版　平成29年　ヌーベルヒロカワ　随時紹介

【8】 受講生へのメッセージ

看護過程Ⅰは、看護実践を考える基盤となる科目であり、看護過程Ⅱ（演習）につながる科目です。そのため、学校の図書を活用しながらの自己学習が不可欠です。